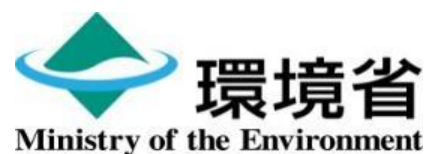

低濃度PCB廃棄物の処理体制の整備及び 処理の状況

令和8年3月26日



廃棄物規制担当参事官室/PCB廃棄物処理推進室

低濃度PCBの処理体制の整備状況

無害化処理事業者の認定／許可の状況

【令和8年2月末現在の状況】

(1) 無害化処理認定 (大臣認定)

事業者数 31事業者

◎ 焼却方式 (還元熱化学分解方式含む)

24事業者
(内、筐体処理：14事業者)

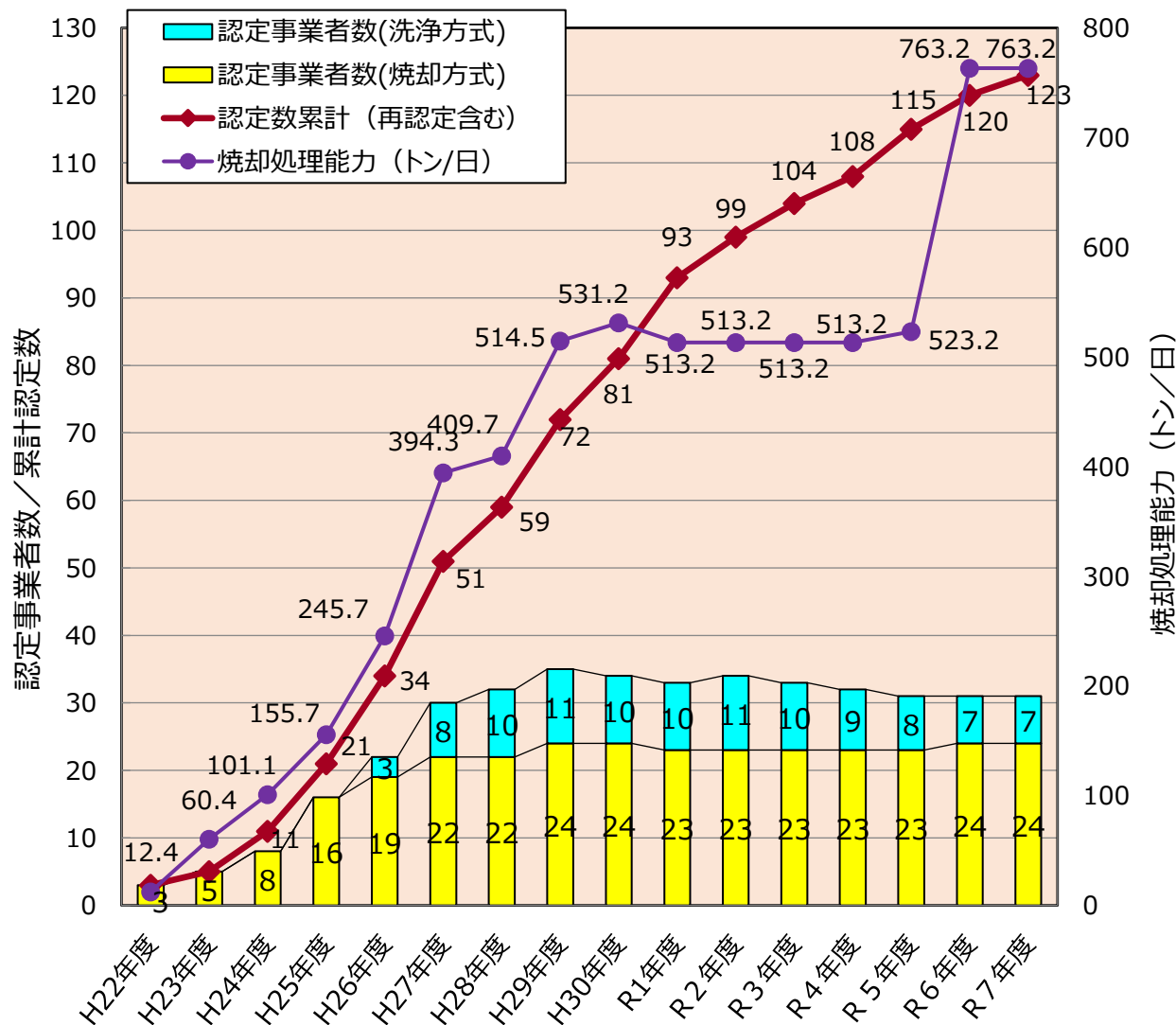
◎ 洗浄方式 7事業者
(内、分解・洗浄方式：2事業者)

移動式 5事業者
固定式 2事業者

(2) 都道府県市の長の許可

事業者数 2事業者

◎ 焼却方式 2事業者
(内、筐体処理：1事業者)



無害化処理認定数及び微量PCB汚染廃電気機器の焼却処理能力 (都道府県許可事業者を含む) 推移

(参考) 低濃度PCB廃棄物の無害化処理施設《焼却方式等》

認定: 24施設
 許可: 2施設
 (筐体を処理可能な施設は15施設)

(令和8年2月末時点)

◎エコシステム山陽(株)
 ※岡山県知事許可施設
 油・**筐体**・汚染物

JFE条鋼(株)
 汚染物

光和精鉱(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎三池製錬(株)
 汚染物

◎オオノ開発(株)
 油・**筐体**・汚染物

三光(株)
 油・**筐体**・汚染物

環境開発(株)
 油・汚染物・ドラム缶

◎神戸環境クリエート(株)
 油・汚染物

(株)富士クリーン
 油・**筐体**・汚染物

ユナイテッド計画(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎(株)富山環境整備
 油・**筐体**・汚染物

(株)ジオレ・ジャパン
 油

エコシステム小坂(株)
 汚染物

◎エコシステム秋田(株)
 油・**筐体**・汚染物

(株)太洋サービス
 油・**筐体**・汚染物

三重中央開発(株)
 ※三重県知事許可施設
 油・汚染物



JX金属苫小牧ケミカル(株)
 油・**筐体**・汚染物

東京鐵鋼(株)
 油・**筐体**・汚染物

◎(株)クレハ環境
 油・**筐体**・汚染物

◎日本製紙勿来クリーンセンター(株)
 (還元熱化学分解方式) 汚染物

日重環境(株)(旧赤城鉱油(株))
 油・**筐体**・汚染物

群桐エコロ(株)
 油・**筐体**・汚染物

杉田建材(株)
 油・**筐体**・汚染物

エコシステム千葉(株)
 油・汚染物

J&T環境(株)(旧JFE環境(株))
 油・汚染物

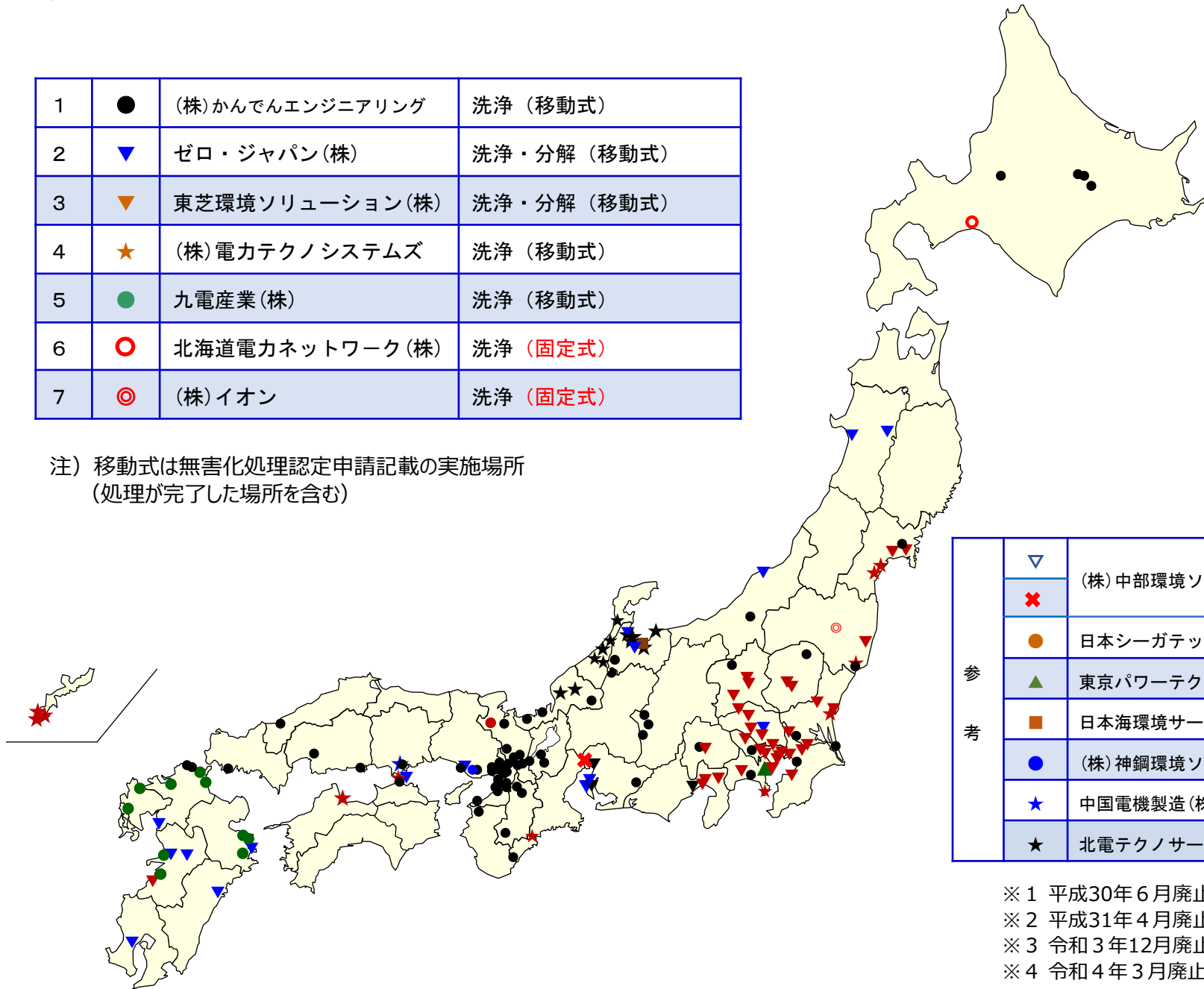
油: 低濃度PCB廃油
筐体: 微量PCB汚染廃電気機器等の容器及び内部部材等
 汚染物: 低濃度PCB汚染物及び処理物
 ◎: 5,000mg/kg超の低濃度PCB汚染物を処理可能な施設

■ : 筐体の処理が可能な事業者

(参考) 低濃度PCB廃棄物の無害化処理施設《洗浄方式》

1	●	(株)かんでんエンジニアリング	洗浄 (移動式)
2	▼	ゼロ・ジャパン(株)	洗浄・分解 (移動式)
3	▽	東芝環境ソリューション(株)	洗浄・分解 (移動式)
4	★	(株)電力テクノシステムズ	洗浄 (移動式)
5	●	九電産業(株)	洗浄 (移動式)
6	○	北海道電力ネットワーク(株)	洗浄 (固定式)
7	◎	(株)イオン	洗浄 (固定式)

注) 移動式は無害化処理認定申請記載の実施場所
(処理が完了した場所を含む)



参 考	▽	(株)中部環境ソリューション	洗浄 (移動式) ※ 1
	×		洗浄 (固定式) ※ 2
	●	日本シーガテック(株)	洗浄 (移動式) ※ 3
	▲	東京パワーテクノロジー(株) (川崎市許可)	洗浄 (固定式) ※ 4
	■	日本海環境サービス(株) (富山市許可)	分解 (固定式) ※ 5
	●	(株)神鋼環境ソリューション	洗浄 (移動式) ※ 6
	★	中国電機製造(株)	洗浄 (移動式) ※ 7
	★	北電テクノサービス(株)	洗浄 (移動式) ※ 8

※ 1 平成30年6月廃止
 ※ 2 平成31年4月廃止
 ※ 3 令和3年12月廃止
 ※ 4 令和4年3月廃止

※ 5 令和4年3月廃止
 ※ 6 令和4年10月廃止
 ※ 7 令和5年7月廃止
 ※ 8 令和7年1月廃止

(令和7年2月末時点)

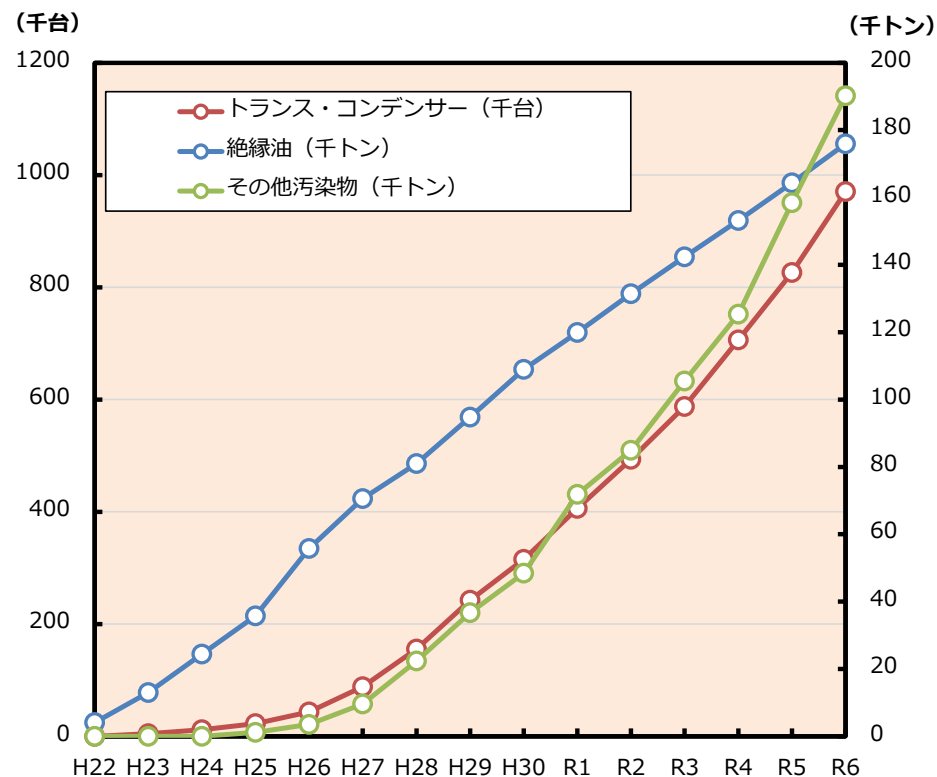
低濃度PCB廃棄物等の処理の進捗状況



- 令和6年度末までに、PCB含有の廃電気機器類を約97万台、PCB油を約17万5千トン、塗膜等のPCB汚染物を約19万トン処理している。

● 低濃度PCB廃棄物の処理状況

	令和6年度 処理実績	累計処理量 (令和6年度末時点)
廃電気機器類 (変圧器・コンデンサー等)	約144千台	約970千台
PCB油	約11千トン	約175千トン
汚染物	約32千トン	約190千トン



無害化処理認定施設における絶縁油、廃電気機器、汚染物（ドラム缶を除く）の処理実績累計（令和6年度末時点）※大臣認定施設のみ

PCBを含有する汚染物（PCB濃度5千～10万ppm）の処理実績



- 令和元年12月に、PCBを含有する汚染物（PCB濃度が10万ppm以下）の処理体制の構築を目的とし、環境大臣の無害化処理認定施設等の処理対象を拡大し、可燃性の汚染物等について10万ppmまで焼却範囲を拡大した。

PCBを含有する汚染物（PCB濃度5,000ppm～10万ppm）の処理実績（t）

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度 (1月まで)	合計
A社	176	268	198	53	97	16	808
B社	20	74	5	9	1	3	112
C社	10	72	119	23	8	2	234
D社	—	23	21	10	7	0	61
E社	—	25	37	41	148	18	269
F社	—	—	—	450	271	584	1,305
G社	—	—	—	101	173	179	453
合計	206	464	380	687	705	802	3,225

※スライド2で◎の施設

PCBを含有する汚染物（PCB濃度 5千～10万ppm）の処理を実施した処理施設の排ガス等のモニタリング結果（令和7年度）



事業者	項目	PCB				ダイオキシン類			
		最小	最大	管理濃度	単位	最小	最大	管理濃度	単位
A社	排ガス	1.4	1.7	100,000	ng/m ³	0.00022	0.0022	0.1	ng-TEQ/m ³
	排水	不検出	不検出	不検出	mg/L	0.00043	0.0026	4	pg-TEQ/L
	燃え殻	0.0003未満	0.0003未満	0.003	mg/L	0	0.014	3	ng-TEQ/g
	ばいじん※ ¹	0.0003未満	0.0003未満	0.003	mg/L	0.0088	0.13	3	ng-TEQ/g
B社	排ガス	11.0	15	10,000	ng/m ³	0.065	0.13	0.6	ng-TEQ/m ³
	排水	0.00000028	0.00000036	0.003	mg/L	0.29	0.65	10	pg-TEQ/L
	燃え殻	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	0.04200	0.16	3	ng-TEQ/g
	ばいじん※ ¹	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	0.02	0.022	3	ng-TEQ/g
C社	排ガス	1.3	3.8	10,000	ng/m ³ N	0.013	0.07	0.1	ng-TEQ/m ³
	排水	※ ²				※ ²			
	燃え殻	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	0.05300	0.059	3	ng-TEQ/g
	ばいじん※ ¹	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	0.11	0.17	3	ng-TEQ/g
D社	排ガス	—	—			—	—		
	排水	— 処理を未実施				—			
	燃え殻	—				—			
	ばいじん※ ¹	—				—			
E社	排ガス	320	480	100,000	ng/m ³ N	0.019	0.058	0.1	ng-TEQ/m ³ N
	排水	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	0.075	0.090	10	pg-TEQ/L
	燃え殻	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	<0.1	<0.1	3	ng-TEQ/g
	ばいじん※ ¹	<0.0005	<0.0005	0.003	mg/L	0.33	0.94	3	ng-TEQ/g
F社	排ガス	40	40	80000	ng/m ³ N	0.0000043	0.0000043	0.08	ng-TEQ/m ³ N
	排水	<0.0005	<0.0005	<0.0005	mg/L	0.45	0.45	8	pg-TEQ/L
	燃え殻	<0.1	0.1	0.5	mg/kg	0.00038	0.0051	1	ng-TEQ/g
	ばいじん※ ¹	—※ ³				—※ ³			
G社	排ガス	35.0		100,000	ng/m ³ N	0.067		0.1	ng-TEQ/m ³ N
	排水	—※ ⁴		—※ ⁴	—※ ⁴	—※ ⁴		—※ ⁴	—※ ⁴
	燃え殻	<0.0005		0.003	mg/L	0.27000		3	ng-TEQ/g
	ばいじん※ ¹	<0.0005		0.003	mg/L	0.24		3	ng-TEQ/g

* 1ばいじんの測定データについては、脱水ケーキを含む。

* 2焼却工程で排水を全量噴霧焼却処理するため、排水の発生がないことから管理濃度が設定されていない。

* 3加熱分解装置で分解し発生した粉塵は噴霧処理ではたきおとすため、ばいじんは発生しない。

* 4事業場内で発生した汚水は排水処理施設において処理し、場内で再利用され公共用水への排水がないため、管理濃度が設定されていない。